

入学試験問題

数学(理科)



(配点 120 点)

平成 18 年 2 月 25 日 14 時—16 時 30 分

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は全部で 20 ページあります。落丁、乱丁または印刷不鮮明の箇所があったら、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答には、必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用しなさい。
- 4 2 枚の解答用紙が渡されますが、青色刷りの第 1 解答用紙には、第 1 問～第 3 問について、茶色刷りの第 2 解答用紙には、第 4 問～第 6 問について解答しなさい。
- 5 解答用紙の指定欄に、受験番号(第 1 面 2 箇所、第 2 面 1 箇所)、科類、氏名を記入しなさい。指定欄以外にこれらを記入してはいけません。
- 6 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 7 解答用紙の解答欄に、関係のない文字、記号、符号などを記入してはいけません。また、解答用紙の欄外の余白には、何も書いてはいけません。
- 8 この問題冊子の余白は、計算用に使用してもよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 解答用紙および問題冊子は、持ち帰ってはいけません。

受 験 番 号						
---------	--	--	--	--	--	--

上欄に受験番号を記入しなさい。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 1 問

O を原点とする座標平面上の 4 点 P_1, P_2, P_3, P_4 で、条件

$$\overrightarrow{OP_{n-1}} + \overrightarrow{OP_{n+1}} = \frac{3}{2} \overrightarrow{OP_n} \quad (n = 2, 3)$$

を満たすものを考える。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) P_1, P_2 が曲線 $xy = 1$ 上にあるとき、 P_3 はこの曲線上にはないことを示せ。
- (2) P_1, P_2, P_3 が円周 $x^2 + y^2 = 1$ 上にあるとき、 P_4 もこの円周上にあることを示せ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 2 問

コンピュータの画面に、記号○と×のいずれかを表示させる操作をくり返し行う。このとき、各操作で、直前の記号と同じ記号を続けて表示する確率は、それまでの経過に関係なく、 p であるとする。

最初に、コンピュータの画面に記号×が表示された。操作をくり返し行い、記号×が最初のものも含めて 3 個出るよりも前に、記号○が n 個出る確率を P_n とする。ただし、記号○が n 個出た段階で操作は終了する。

- (1) P_2 を p で表せ。
- (2) $n \geq 3$ のとき、 P_n を p と n で表せ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 3 問

O を原点とする座標平面上に、 y 軸上の点 $P(0, p)$ と、直線 $m: y = (\tan \theta)x$ が与えられている。ここで、 $p > 1$ 、 $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ とする。

いま、傾きが α の直線 ℓ を対称軸とする対称移動を行うと、原点 O は直線 $y = 1$ 上の、第 1 象限の点 Q に移り、 y 軸上の点 P は直線 m 上の、第 1 象限の点 R に移った。

- (1) このとき、 $\tan \theta$ を α と p で表せ。
- (2) 次の条件を満たす点 P が存在することを示し、そのときの p の値を求めよ。

条件：どのような θ ($0 < \theta < \frac{\pi}{2}$) に対しても、原点を通り直線 ℓ に垂直な

直線は $y = \left(\tan \frac{\theta}{3} \right) x$ となる。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 4 問

次の条件を満たす組 (x, y, z) を考える。

条件(A) : x, y, z は正の整数で, $x^2 + y^2 + z^2 = xyz$ および $x \leq y \leq z$ を満たす。

以下の問いに答えよ。

- (1) 条件(A)を満たす組 (x, y, z) で, $y \leq 3$ となるものをすべて求めよ。
- (2) 組 (a, b, c) が条件(A)を満たすとする。このとき, 組 (b, c, z) が条件(A)を満たすような z が存在することを示せ。
- (3) 条件(A)を満たす組 (x, y, z) は, 無数に存在することを示せ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 5 問

$a_1 = \frac{1}{2}$ とし、数列 $\{a_n\}$ を漸化式

$$a_{n+1} = \frac{a_n}{(1+a_n)^2} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

によって定める。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) 各 $n = 1, 2, 3, \dots$ に対し $b_n = \frac{1}{a_n}$ とおく。

$n > 1$ のとき、 $b_n > 2n$ となることを示せ。

- (2) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} (a_1 + a_2 + \dots + a_n)$ を求めよ。

- (3) $\lim_{n \rightarrow \infty} na_n$ を求めよ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 6 問

$x > 0$ を定義域とする関数 $f(x) = \frac{12(e^{3x} - 3e^x)}{e^{2x} - 1}$ について、以下の問いに答えよ。

- (1) 関数 $y = f(x)$ ($x > 0$) は、実数全体を定義域とする逆関数を持つことを示せ。すなわち、任意の実数 a に対して、 $f(x) = a$ となる $x > 0$ がただ1つ存在することを示せ。
- (2) 前問(1)で定められた逆関数を $y = g(x)$ ($-\infty < x < \infty$) とする。このとき、

定積分 $\int_8^{27} g(x) dx$ を求めよ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)